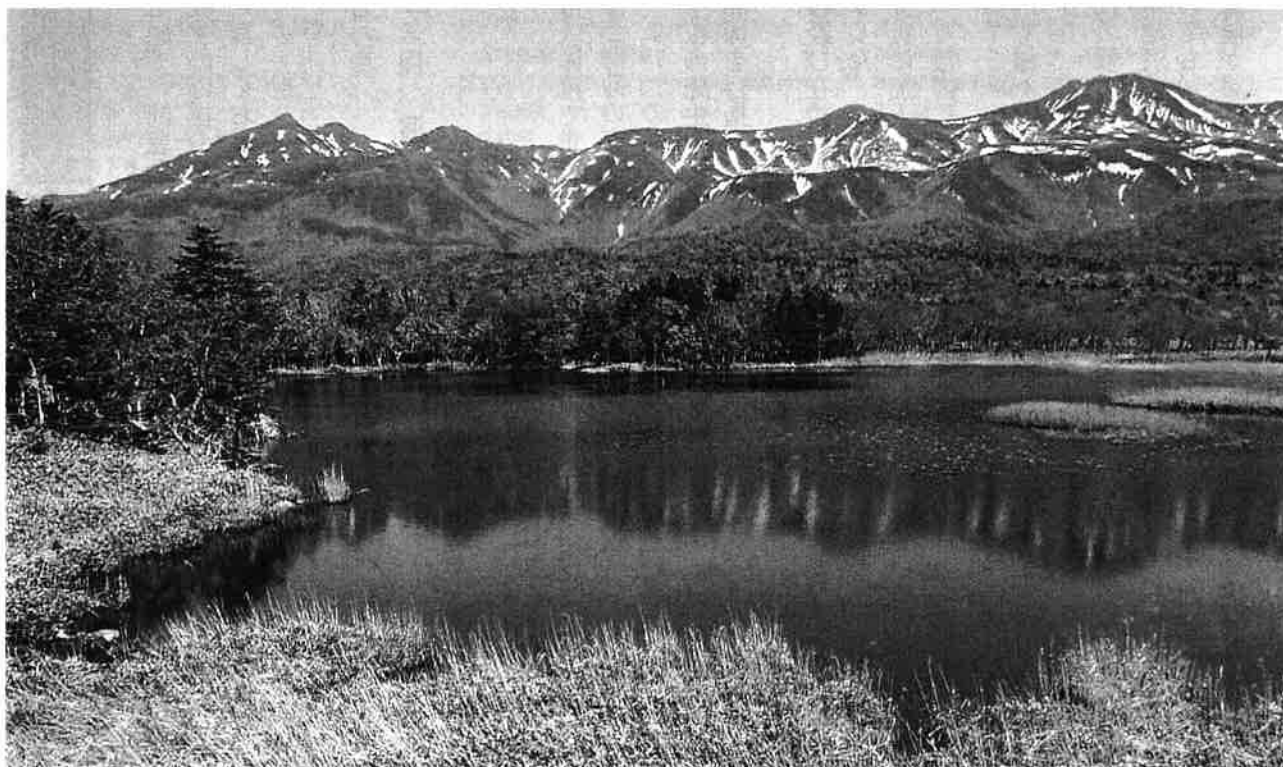


やよい

発行責任者 東京都立向丘高等学校同窓会
 会長 宮久保 渡
 編集 会報委員会
 事務局 〒113-0023
 文京区向丘1-11-18 向丘高校内
 TEL 03-3811-2022
 FAX 03-3812-4055



凜と連なる知床連山 知床五湖展望台から 名誉顧問 小川力洋氏 撮影

同窓会活動のご案内（やよい会）

①同窓会総会

令和2年4月26日(日)

受付 11:30～

開始 12:00～

会務・会計等の報告・審議

懇親会 12:30～15:00

場所 駒込「源気丸」(旧磯太郎)

北区西ヶ原1-55-27

TEL 03-5961-5011

会費 ¥2,000 (他会補助)

申込方法 同封の振込用紙にて、
4月17日(金)まで
にお振込み下さい。



②同窓会「都内に行く」(仮称)

のご案内

都電とお寺回り(1日乗車券がお得)

令和2年5月24日(日) 13:40

都電「早稲田駅」集合、14:00頃発

目白不動、鬼子母神、高岩寺

懇親会 17:00 巣鴨「タカセ」3階

「高岩寺」より巣鴨駅方面斜め前

03-5980-7757

会費 3,000円(会からの補助あり)

申込 同封の振込用紙にて、
5月16日(金)までに申込
ください。又は、連絡先まで、
メール・電話で。

連絡先 090-4597-0475

宮久保

③学校訪問(ホームカミングデー)

令和2年9月12日(土)

時間 10:00～15:00

9月13日(日)

時間 9:30～15:00

母校向陵祭(文化祭)音楽・演劇・
研究発表あり。PTA展示室にて同
窓会作品展示あり。一般会員の出
展歓迎(要連絡。宮久保会長まで)



総合問合せ先

〒171-0032

豊島区雑司が谷3-14-5

東京都立向丘高等学校同窓会

会長 宮久保 渡

TEL 090-4597-0475

メール miyakubol405@yahoo.co.jp

ホームページ

東京都立向丘高等学校同窓会

一 挨拶

高校創立七十周年を経て、同窓会の発展と母校及び在校生の応援のため、皆様方のご支援を宜しく申し上げます！



同窓会会長

宮久保 渡

一、はじめに

昭和四十五年卒の宮久保渡です。昨年に引き続き、同窓会財政の充実、名簿の整備、会報「やよい」の発行、校長先生をはじめ、学校の先生方及びPTAとの緊密な関係を目指してきました。

そして何よりも母校及び在校生への応援活動を展開しました。

昨年ほぼ卒業生全員に加入して頂きました。先生方のご協力に感謝を申し上げます。

母校も一時期に比べて様々な点で良くなりました。しかし、高校をめぐる状況は、私立高校の授業料の無償化、大学入試など大きく変わってきます。同窓会においても、課題もいくつかあり、この克服が必要と考えています。

① 総会への参加人数が少ない。
② 役員と会員・会員同士の交流が会全体に反映されていない。

③ 全体を網羅する幹事会体制の未整備。

④ 同窓会・同期会などの情報がそれぞれの会員に対し充分行き渡っていないなど、があります。これらの改善を目指して行きたいと考えています。

会員の皆様のご協力を心からお願ひします。

二、総会・懇親会にご参加を

毎年、会報にて同窓会総会日を発表し、事業報告・会計報告・次年度計画の審議などを行い、議事を決議しております。

今年も、学校ではなく、外の会場で総会を開催致します。一般的なパーティー形式です。(お酒あり)

同期会・クラス会・クラブのOB会を開催したいと考えている皆様は、ぜひご参加下さい。同窓会で応援します。

多くの皆様が参加されますようお願い致します。

また、昨年は全国大会を高尾山で開催しました。今年からは「同窓会・都内をいく」(仮称)という、多くの方が参加出来る事を実施します。

三、入会金・年会費の拝受

入会金にしましては、一万有余の会員の皆様に、会報発行・発送をさせて頂いております。

年会費のご協力によりまして、会の運営が賄われています。貴重な財産として大切に、かつ有効に活用させて頂こうと感謝申し上げ、尚一層のご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。

四、ホームページの充実、会報「やよい」の削減検討

ホームページについては、皆様方の投稿も含め、充実を目指します。

会費については、全員に発送を見直し、隔年配布等検討します。

どうか引き続き会員の皆様のお知恵、ご協力をお願いします。

伝統と革新

さらなる発展をめざして



校長

加藤 孝行

やよい会の宮久保会長、前会長の小川様をはじめ皆様には、日頃より大変お世話になっております。また、長年にわたる本校へのご支援、心よ

り感謝申し上げます。平成三十一年四月に向丘高校に着任し、その月の同窓会総会に出席させていただきました、参加された方々の多さに驚くとともに、たくさんの方からお話を伺い、変わらぬ母校愛を強く感じ取ることができました。本校は創立七十周年の節目を経て、七十二年目を迎えた今年度も理想とする教育をめざして教育活動を行ってまいりました。

現在、高校教育は大きな変革期を迎えております。これからの変化の激しい時代に対応できる資質・能力を育成するために学習指導要領が改訂され、高校は二〇二〇年から実施されます。それに伴う高大接続改革では、現在実施されている大学入試センターテストが二〇二一年から大学入学共通テストとなり、国語と数学で記述式問題の導入、民間の英語4技能試験の利用が大きな改革の目玉とされていきました。しかし、文部科学省はどちらも導入を延期することとなりました。現在の高校二年生は、新しい入試制度に対応すべく準備をしておりましたが、政治や行政の混乱の影響を受ける結果となりました。しかし、これらの導入延期により、これから求められる資質・能力に変更有るわけではありません。引き続き、思考力、判断力、表現力

等の育成が必要となります。

日本は戦後復興から経済発展を遂げる過程において、経済発展を遂げて豊かな生活を実現するという、明確で共通した目標がありました。当時は日本型経営といわれた、終身雇用制度、年功序列型賃金、企業別組合の体制の中、日本人の生真面目さ、集団主義等により企業戦士、エコノミックアニマルと揶揄されながらも、着実な発展を遂げて来ました。しかし、その豊かさを手に入れた先には、日本社会の構造的で解決の難しい課題が多く残りました。超高齢化、人口減少、雇用形態の多様化、財政赤字、学校においては、不登校、フリースクール、ニート、いじめ等が社会問題化しました。シンクタンクに勤める知人は、世界における日本の経済は大きく地盤沈下し、新興国の後塵を拝する状況を懸念していました。改めて豊かさとは何か、幸福とは何かを問い直す必要があるかもしれません。

(Society)をめざすというものです。本校では昨年度から都教育委員会からスマートスクール構想実証研究校に指定され、研究や実証実験を行っています。具体的には、生徒や学校が所有するICT（スマートフォン、タブレットPC等）やネットワークを授業や学習、教育活動に活用し、そのデータを教科指導、自学自習、進路指導等に有機的に結合させ、より効率的、効果的な成果を生み出すことをめざした実践を行っています。普遍的な教育理念とこれから先の未来を踏み出す実践とを融合させ、新たな向丘高校の伝統を築く取組みを今後も行つてまいります。

子どもたちに

明るい未来を



副校長

石井 久美子

昨年四月に加藤孝行校長とともに向丘高校に着任してから、早いもので九ヶ月が過ぎました。この間、宮久保会長をはじめとした同窓会の皆様には、様々な場面でお世話になりました。同窓会の

皆様から頂戴するご意見は、向丘との関わりがまだ浅い私にとって大変貴重なものになっております。

現在高等学校は、学習指導要領の改訂や大学入学共通テストの導入など大きな改革に直面しており、また当初の予定が白紙撤回され大きな混乱も招いています。その中で向丘高校の教員は、少しでも生徒が安心して学習し、将来に向けた大きな目標を達成できるような環境を整えるため一丸となって教育活動に取り組んでおります。

さて、平成三十年代末に読売中高生新聞が「平成時代アンケート」を全国の中学・高校生約二一〇〇〇人を対象に実施しました。平成後の時代に大切にしたい価値観などを尋ねたものです。

一位は「平和」で全体の四十一％（複数回答）を占めました。二位は「安全」、三位は「安心」と穏やかな暮らしを望む傾向がうかがえた一方、経済的な豊かさや社会的な進歩に関する言葉は伸びず、「発展」は九位、「競争」は二十八位でした。四位以下を挙げますと、自由（４）平等（５）伝統（６）安定（７）責任（８）発展（９）公平（１０）となつています。この結果は何を意味しているのか、確かに戦争はありません。

せんが大きな自然災害が多発したり、いじめや虐待があったり、現在は子どもたちが何某かの不安を抱え、安心して暮らせる社会ではないということです。この結果を真摯に受け止めて、子どもたちの、生徒の未来が少しでも明るく希望を持てる世の中にするのが私たち大人の責任ではないかと強く思いました。そのためには何をすべきか、とても難しく答えは簡単には出ませんし、日本全体が同じ意識をもって子どもたちが安心して暮らせる環境を整える必要があります。

では、いま私たちにできることは何か、教員として生徒と向き合うことはもちろんのこと、様々な経験を積んだ人生の先輩として話を聞き寄り添い、少しでも生徒の心を穏やかにし、自信を持たせることだと思っています。このことは全教員にも伝えたいと思います。

そして、向丘高校七十二年の伝統の上に、生徒が取り組んできたその成果をどれだけ積み重ねることができるか、楽しみであると同時に責任の重さも感じています。

これからも向丘高校の生徒のために何事にも全力で取り組んでまいりますので何卒よろしく願ひいたします。

同窓会総会報告

同窓会は、平成31年4月21日(日)12時より駒込駅近くの和食店で開催されました。

総会は、杉浦副会長の司会で開始され、宮久保会長の挨拶、仙谷幹事長の音頭による校歌斉唱を経て、議事に入りました。議長は、規約に従い、宮久保会長がつとめ、

①報告事項 ア、事業報告(笹山書記)イ、

決算・監査報告(尾道会計・三田監事)それぞれ承認されました。引き続き、②審議事項

ア、事業計画(佐々木会計)イ、予算案(尾道会計)ウ、役員選任(宮久保会長)が提案をされました。それぞれの審議事項について、満場一致で承認されました。

続いて懇親会に入り、加藤校長によりご挨拶を受け、小川名誉顧問より乾杯の発声をもって、和気あいあいの中で進行していきました。来賓として、石井副校長、山内PTA会長等PTA現・元役員のご臨席を頂きました。

参加されました皆様は、時間を忘れるほど懇談を致しました。有難うございました。今年も友人をお誘い参加されますようお願いいたします。



やよい全国大会 高尾大会報告

高尾大会は、令和元年5月26日高尾山で開催されました。(20名参加)当日は、高尾山ハイキング。その後、和食屋で懇親を深めました。



同窓会「都内を行く」(仮称)のご案内

1. 2020年5月24日(日) 13:40
都電「早稲田駅」集合、14:00頃発
目白不動、鬼子母神、高岩寺
2. 懇親会 17:00 巣鴨「タカセ」3階
「高岩寺」より巣鴨駅方面斜め前
03-5980-7757
3. 会費 3,000円(会からの補助あり)
連絡先 090-4597-0475 宮久保



都電で巡る一日ツアー(パート1)

1. 金乗院(学習院下)

金乗院は、真言宗豊山派の寺院で、江戸三大不動・江戸五色不動の一つ、目白不動尊が祀られてことで知られている。

真言宗豊山派は総本山は奈良県桜井市の長谷寺、東京の大本山は護国寺と西新井大師、徳川幕府の庇護を受けたことから関東では多くの信者を有するが、中国・九州地方では末寺が1か所ずつしか存在しない。本尊は大日如来で宗祖は弘法大師空海。

2019年を振り返って



PTA会長

山内 浩恵

娘が向丘生となって早三年。三月には卒業を迎えます。本場に「光陰矢の如し」です。全くPTA活動に無縁だった私が三年間、ささやかな活動ではありますが、未知な世界に身を置いてこられたのは、一緒に活動した保護者の皆様と学校の先生方はもちろん、同窓会の皆様の存在も大きかったと思っています。卒業生の皆様が母校を大切に思うお気持ち、様々な機会に伝わって参ります。私は卒業生ではありませんが、向丘高校を真ん中にして、PTAも同じ仲間として迎え入れてくださり、「生徒のために力を合わせていきましょう。」と暖かな言葉をかけていただきました。先日、向丘PTA会長OB会の皆様とお会いする機会がありました。歴代の会長、元校長先生、同窓会の方が一堂に会し、それぞれの時代のお話や近況をお聞かせくださいましたが、今では想像できないような(!)生徒や保護者の様子なども伺いました。そんな時代を経て、学校・家庭・地域が力を出し合い、都内屈指の倍率を誇る人氣

校へ押し上げてくださったのだと感謝の気持ちを抱きました。一朝一夕にできることではなく、先生方をはじめ関係の皆様が弛まぬ努力と不断の挑戦を続けて今の向丘高校があるのだと感じました。

さて、平成から令和へと新しい時代を迎えた昨年は、どんなことがあったのだろうと振り返ってみました。個人的には毎年恒例の某百貨店の福袋に並び、箱根駅伝をTV観戦して呑気に一年をスタートしました。五月の改元は昭和から平成になった時とは違い、明るく期待に満ち祝祭ムードが溢れていました。私にとっても同世代の天皇皇后両陛下の誕生は感慨深いものがあります。余談ですが、天皇陛下が皇太子だった時に、娘と自転車に乗っていて突然警察官に止められたことがありました。理由がわからず、ドギマギしていたら学習院の校門から黒塗りの車が出てきました。後部座席の窓から手を振ってくださったのが今の天皇陛下でした。居合わせたのは私と娘の二人だけ。それなのに、いつもTVで見るそのままのお姿とお人柄に感激したことがあります。そして、九月にはアジアで初となるラグビーW杯日本大会が開催されました。たくさんの方にわかファン（私もその一人です）がルールを覚え、強豪国に全

力で挑む姿に感動の嵐が巻き起こり、「ONE TEAM」が新語・流行語大賞になるなど日本中が熱狂しました。10月には消費税率一〇%がスタート。その後大学共通テスト英語の民間試験が見送りになりましたが、大人たちの都合で振り子のようにあちちに行ったりこちちに来たりさせられて、当事者である生徒たちが置き去りにされているようで、なんだか腹立たしい思いを感じました。その他、世界初のブラックホール撮影成功、イチローの引退、高齢ドライバーの事故、東日本台風大雨被害、沖縄首里城火災、ノーベル化学賞吉野氏受賞などなど、改めて思い返してみると本当にいろいろなことがありました。自分自身を振り返ってみると、仕事に忙殺された感はありませんが、忙中閑有り、少しは好きなこともできたので概ね良い一年だったと思います。令和二年はどんな年になるでしょう。我が家は末っ子の三女が大学生になり、もう親の出番はほとんどなくなります。自分の人生をどう仕上げていくか考えるのも、楽しみのひとつにしようと思います。

PTA会長としては、五月の総会までが任期になりますので、引き続きお世話になります。どうぞよろしくお願いたします。

都電で巡る一日ツアー（パート1）

2. 鬼子母神堂（鬼子母神）※雑司ヶ谷鬼子母神堂の「鬼」の文字は一角目の点のない文字を使います。

日蓮宗法明寺の飛地境内にある。寛文4年（1664年）広島藩主浅野光晟の正室満姫の寄進による建立。細部の様式に安芸地方の社寺建築に共通する要素が認められる。鬼子母神像は永禄4年（1561年）山村丹右衛門が現在の目白のあたりで鬼子母神像を井戸の中から掘り出し、東陽坊（茶室）に祀ったのが始まりとされる。

3. 高岩寺（新庚申塚）

曹洞宗の寺で本尊は地藏菩薩、とげぬき地藏の名で知られる。その由来は、武士の田村又四郎の妻が病に苦しみ、死に瀕していたところ、夢枕に立った地藏菩薩のお告げに従い、地藏の姿を印じた紙1万枚を川に流すと、その効驗あつてか妻の病が回復したという。これが寺で配布している「御姿」の始まりとされる。

その後、毛利家の女中が針を誤飲した際、地藏菩薩の御姿を飲み込んだところ、針を吐き出すことができ、吐き出した御姿に針が刺さっていたという伝承もあり、「とげぬき地藏」の通称はこれに由来する。そこから他の病気の治癒改善にも利益があるとされ、現在に至るまで高齢者を中心に参拝者が絶えない。

同窓会・クラス会だより

「第十回同期会を無事終えて」

昭和三十七年卒(第十四期)

寺村 光 司

第一回の同期会を始めてから二十八年を経て、今年の六月に第十回目を無事終えることができました。その間、還暦、古希を迎え、恩師の先生方のほとんどが鬼籍に入られ、同期生も多くの人が物故されています。河原幹事とともに健康で、幹事を務められた事は大変光栄に思っております。

さて六月二十九日は梅雨の真っ最中、天気を心配しましたが、さほどの降りにならず早い方は十二時過ぎに顔を出すような状況で、心配も吹き飛んでしまいました。出席の返事を頂いた方は五十二名、開始時間一時には四十五名ほどの方が参集し、もう少し待ってという事で、五十名になったところで会を始めました。

二名参加の組は十名の組に合流し、五名、六名の組が三か所、

十二名参加の組が二か所と五テーブルに分かれて五十一名が着席し、乾杯とともに話が盛り上がり各テーブル大騒ぎになりました。

頃合いを見て河原幹事が、現在の住居別に、都内、千葉、埼玉、文京などと住民が多い順に招集し、一人一人近況を報告してもらいました。次は今後の目標や終活に向かったの思い等々を、再度在校時の部活別、通学の沿線別、中学別で仕切り、一人ひとり自分の思いをぶつけました。時間が経つのは早いもので、すでに三時三十分過ぎ、集合写真を撮り次回の参集を誓って散会となりました。次回はというと皆さん、七十八か七十九歳すでにD組の幹事さんが、「元氣丸」でと計画しているようですが、まずは皆さんの無事を祈りたいと思います。

ここで反省を一つ、会場はキューブ上野といいますが、カラオケのビッグエコー上野駅前店七階でお知らせには明記したのですが、店名で探された方が多かった



ようで、迷われた方が大勢出てしまいました。ちなみに会費は一人五千円(税込み)で十分収支は間に合いました。

終戦子のクラス会

昭和三十九年卒 D組

斉藤 昌利

令和元年一月二日にクラス会を開催した。この日、朝から夕方まで太陽はサボらずに陽射しを届けた日本晴れ。参加者一六名。参加率四〇%(物故、住所不明者除外)会場は向丘高校近くの長寿庵。

高齢になりクラス会を企画するのはキツカケがあった。同学年C組のクラス会へ参加させて頂き、私たちD組も開催したいと思った次第。向丘同窓会会長の宮久保様に情報提供等を頂きこれを基に開催へ向けた。世話人は男女各2名。開催に至る作業の九割以上は女性の尽力。向丘卒の女子力に改めて敬意を表するものとなった。

会場に着くと一人ひとりの風貌に豊かな人生経験を見て取れ、卒業後五五年の歳月を実感。

いままも仕事に活躍中の者、仕事から離れた者。幸あれば不運も、

楽園あれば修羅場も。獲得あれば失ったものも多く・・・人生模様が描かれる。



長寿庵での二時間はあっという間。懇親は深まり二次会は近くの喫茶店へ。クラス会定番の、今だから話せる、秘話公開はなかった。これは来年へ持ち越し。お喋りも笑いも尽きず惜しみながら散会。七〇代でも楽しいことはいろいろある。しかしめっちゃ楽しく、チョー明るく、心からはしゃげるのは私たちが作れる「青春」

いつの時代にも優等生・劣等生、よい子・悪い子はある。ニュースが伝える悪いニュースの仲間コミュニケーションは私たちの時代にも

あったと思う。時に小突きあいをしたが友人をウザイと排除するいやらしさはなかった。

人間関係と豊かな社会経験は加齢に従い慈母のごとく慈しみと寛大へと向かわせる。これは女性の多かった、母、校向丘が原点か。

昭和二〇年から二十一年生まれの私たちは戦後史のスタートラインから戦後時代を伴走し老人になった。マッカーサーお気に入りから流行り始めた「青春詩」はこの頃から流行り始めた。青春とは若い時期を言うのではない」と。「青春詩」に鼓舞されても心身の老化には抗えない。私たちは来年人生の黄昏、後期高齢者。人生路に私たちの影は長く伸びる。この期に向丘の青春を見ることは輝き放つ万華鏡を覗くような私たちだけの青春詩。いま青春の輝きを見ることが出来るのは、まぎれもなく卒業後五五年を生きてきた証。クラス会はあと何回できるであろう。

今回参加できなかった方、来年は是非お会いしましょう。多くの級友(旧友)と時間を共有できれば喜びはもっと大きくなる。皆さーん、お元気に!

同期会(十八期生)のご案内

昭和四十一年卒

谷 嶋 二三男

私達十八期生は、同期会を一九九五年(卒後三十年)より二年毎に開催し、二〇一四より毎年開催してきております。同期全卒業生三百七十名の内、住所のわかる方二百七十六名に案内を送っていました。二〇一四年からは、返信のある方(百六十一名)にしばらく、経費を抑えてきています。それでも、友人に誘われてか、毎年のように初参加者がありました。

最近メールも普及してきておりますが、昨年はさらに、五年間返信の無い方を除き、返信用葉書同封で百三十二名の方に郵送いたしました。しかし、郵送による参加者は、十名程度、他はメールによるものでした。そこで、本年度は、試しに同窓会誌「やよい」に案内を掲載し、参加者の経費負担の軽減を図ることにしました。葉書による参加者が減る可能性もありますが、それはそれで致し方がないかと思えます。それと、開催時期や会場の設定など、幹事の負担も少なくするために、同じ会場、同

じ時期に見ることにしました。三年に一度ぐらいは、近況報告などを含め従来の案内方法で、開催したいと思っております。

同期会二〇二〇年の開催要項を以下に記載いたします。お手数ですが、参加ご希望の方は、ご連絡いただければと思います。アドレスを頂いている方には、別途メールでのご案内をいたします。

(1) 日時

二〇二〇年五月十六日(第三土曜日)、午後一時から五時

(2) 場所

パセラリゾーツ上野公園前店(ＪＲ上野駅不忍口より徒歩5分)

(3) 会費

五〇〇〇円(飲まない方)、
五五〇〇円(飲む方)、八〇〇〇円(夫婦割引…お二人で)
*四時間飲み放題付

(4) 申込方法

① メール

f-tanishima@ac.aunone-net.jp

② 携帯

〇八〇一六七八二一四九一五
(ショートメールで)

③ 葉書にて

〒一三三〇〇二二

文京区本駒込六丁目一五〇一九
一四〇一 谷嶋二三男宛

*いずれも、参加との記載、クラス、氏名(旧姓)、連絡先を記載願います。

(5) 申込締切

二〇二〇年四月三十日(木)着

(6) その他

参加者三十名以上の場合、抽選等で宿泊券(一ペア)が当たります。

(7) 拡大幹事会

例年通り、拡大幹事会を同窓会と同時に開催いたしますので、ご参加ください。

同窓会の役員の方には、同窓会や会誌「やよい」をはじめ、いろいろ利用させていただき、改めて、御礼申し上げます。

卒業五十年目の同期会

昭和四十五年卒

鈴木 正伸

『瀬をはやみ

岩にせかるる 滝川の
われてもすゑに

逢はむとぞ思ふ』

申し上げるまでもなく、小倉百人一首にある崇徳院の歌である。今から五十年前、向丘高校を卒業し新たな道へと旅立った私たち二十二期生は、令和元年九月二十八日、新宿三井クラブで再会した。

振り返れば、高校生活の三年間は、この歌の滝川のように瞬く間に過ぎたような気がする。学校群制度の導入、三教科入試といった大きな入試改革を経験し、昭和四十二年四月、私たちは向丘高校で初めて顔を合わせた。入学時、本郷通り、白山通りに都電が走っており、まもなくこの両路線とも廃線となって花電車を見送った。路上に残った線路だけが、しばらくの間、都電が走っていた面影を残した。

世相は、ベトナム戦争が激しさを増す中、反戦運動、七十年安保闘争が激しくなり、高二のときは東大、東京教育大(当時)が入試を取り止めるなど騒然とした時代であった。学生運動が全国各地の高校にも広がり、私たちも立看とアジ演説のなか校門をくぐるようになった。進路を固める三年二期には校舎が封鎖、解除されるまで体育館で集会の日々が続いた。



都立向丘高等学校 昭和45年卒同期会

2019年9月28日 新宿三井クラブ

そして翌年三月、私たちはそれぞれの道を歩んでいった。

それから半世紀が過ぎたこの日四十三名の同期生が再会し、中には五十年ぶりの友もいた。それぞれに人生ドラマを経てこの日を迎えたに違いない。健康面に何らかの不具合を抱える者も増えてきた。年齢を重ねて高校時代の記憶は霞んでいても、顔を会わせれば懐かしい思い出が姿を現す。

校歌斉唱の後の近況報告では、この日が誕生日とのN君の報告に、自然発生的に全員でHappy birthday to youの歌が始まった。同期とは不思議なものだ。高校時代に一度も接点がなかった同期とも、半世紀を経て話に花が咲く。にぎやかな会の中で、いろいろな思い出が頭の中を巡っている。転居等で連絡がとれず同期会の開催を知らずにいる友にも、熱い思いが出がきつとある。いまごろ何処でどうしているのだろう。元気にしているだろうか。二年後開催予定の同期会では是非逢いたい。同期会はアンチエイジング、まもなく古希が近づく皆の顔はいつしか青春期に戻っていた。

『…われてもすゑに逢はむと思ふ』崇徳院の下の句が温く心に

残る。

(同期会から開催通知が届かない方は、鈴木 〇九〇一二三〇四一七七四〇、メール: ml9kop-pa52fuk-ko323s@ezweb.ne.jp までご連絡下さい)

向陵スキークラブ

山小屋の会について

一九六九年卒業のスキーを愛するOG、OB 当初六〇人が集まり、田中洋君を中心に会津先生、麻島先生、菅野先生、なども参加し向陵スキークラブを設立しました。

長野県安曇郡の梅池高原に土地を一〇〇坪取得し山小屋建設を開始しました。土地代金、建設費(土地 坪一万円で合計百万円、建物 二百万円)など、それぞれアルバイトをしながら資金を調達し、土地の整地などを自分達で手伝いながら、何とか片流れ屋根で二階もある山小屋を造ることができました。

自分達の山小屋があるということとは、いつでもスキーができるということでもあります。そこに集まる様々な人々との交流は、い

ろいろな意味で自分たちの力になったと思います。

その後、後輩やゲストで来ていた仲間もメンバーに加わり、一九九二年に老朽化した山小屋を現在の家に建て直し、二〇一四年に「向陵スキークラブ山小屋の会」として活動を継続して現在に至っています。普通このようなことは夢物語で終わることが多いと思いますが、自分達の夢が実現できたことは、田中君のリーダーシップと会員の熱烈な情熱があったからこそだと思っています。

これはその後の人生においても大変大きな自信になったなあと思います。

何より楽しかった。

山小屋概要

所在地 長野県北安曇郡小谷村

拇池高原

代表者 三次 滋

設備 寝室(六畳・七畳・九畳

全てファンヒーター付)

台所リビング 十四畳、

浴室(自動給湯) トイレ

三か所 洗濯機 電子レ

ンジ 冷蔵庫 その他必

要設備は完備



アクセス

電車 北陸新幹線長野駅下車

拇池高原行バス拇池高原

下車徒歩七分

車

上信越長野インター經由
長野オリンピック道路を
通り拇池高原ゴンドラ駅
を通過し直進約二分左

山小屋利用案内

山小屋をご利用なさりたい方は
ご連絡下さい。下記要領にてご案
内いたします。

山小屋ご利用協力金

ビクター 一泊一五〇〇円

正会員同伴の場合 一泊一〇〇〇円

小学生までは無料です。

拇池高原内では食料を調達できま

せんので、白馬駅前にある農協等

で調達してお越しください

寝具(布団、毛布、シーツ、枕カバー

等)は十分にありますが、使用後

に洗濯して帰っていただきますの

で、シーツ等は、持参されること

をお勧めします。余った食料等は、

全て持ち帰して下さい。

連絡先

野沢史夫

Fnoz1950@rain.ocn.ne.jp

電話〇九〇・一六〇一・〇二三二

もっぴのの弥生

バスケットボール部OB・OG会

【弥生クラブ】そして【弥生B】

昭和五十五年(一九八〇年)卒

男子主将

浦野良一

向丘高校の歩みと共に歴史と伝
統のあるバスケットボール部。約
二十数年前?より五年毎に【弥生
クラブ】OB・OG会が開かれて

います。五年程前には上の代では
昭和二十九年卒のH大先輩から平
成年卒?迄幅広い世代の方々が
参加しております。

この伝統のあるバスケットボー
ル部の親睦を更に深め、若い世代
の方々へ輪を広げたい言う願いで
四年前より昭和四十九年卒の本田
さんが発起人となり【弥生B】が
立ち上がりました。

それ以降は年に一度春の恒例行
事として執り行っています。そし
て今年は昭和四十八年卒小川さん



よりオリジナル【弥生B】記念Tシャツ(何と背面には校歌歌詞がプリントしてあります(・*・)を寄贈していただき、集合写真時には着用して盛大な会となりました。

(会場はお台場のホテルグランパシフィックLE DABA 三階G&G)

この会の詳細は私の同期である池田君が開設したHP『弥生クラブ向丘高校バスケットOB会』を定期的に更新、情報UPしていますのでOB・OGの方、是非ご覧いただき掲示板もお気軽に書き込みください。来年は節目の五年になりますので同世代の方々にお声かけいただき、現役時代の古き良き話に花を咲かせ楽しい会にしたいと思しますので宜しくお願い致します。

終わりに、OBである昭和六十三年卒浜口炎HD率いるBリーグ「京都ハンナリーズ」を応援してください。



会員のひろば

昭和三十六年卒

田中正明

常民生活に関心を持つようになってから、長い時間が流れた。

資料を求めて、メモ・テープ・カメラなどを手に、訪れた地も、広く各地に及んだ。そこには、その地で営みを続けて来られた方々との真摯な会話があった。

かつて訪れた埼玉県東秩父村のBさんは、野良仕事の手を休め熱を込めて人の一生について話してくれた。宿の主人Mさんは連夜、これまで野良や機織りの仕事で使っていた道具や作業の様子を絵に書いて説明して下さった。そのようなことは、他の地でも多くあった。東京都檜原村の宿の主人Oさんは仕事を放り出して村の神楽について、屋根葺職人のHさんは作業を順を追って語ってくれた。帰り際土産に頂戴し庭の隅に植えた銀杏の木は、今では二階にまで届いている。その後、亡くなられたことを知った。

叩きつけるような雨の音を聞き

ながら、一夜語り明かした岩手県遠野市新町の僧侶のAさんも今は亡い。子供の時代に想いを寄せ、ポツリポツリと話してくれた長野県飯田市外様北峠の婦人Kさんはどうしているだろうか。

採訪は人生の機微に触れ、こころ楽しいものである。そこには、当世流の功利や疎外も人間不信といったこともなかった。

それと共に嬉しいのは、そこには春に一面に菜の花が咲き、夏にはかまびすしいほどに蝉が鳴き、秋には刈り入れが終った田が夕陽に映えて広がり、冬には木枯らしが音を立てて吹きぬける自然があったことである。

夜店の屋台や店頭で、蛸や鈴虫・松虫が売られる世の中である。かつて福島県の二本松市や長野県の飯田市の田でここに光る蛸を見た時は、その数が多過ぎて感激することを忘れていた。また徳島



県牟岐町の畦道では、往きに光りを放っていた二匹の蛸が、時間をおいてその道に戻って来た時も変わらずに光っていた。赤蜻蛉の例

もある。埼玉県寄居町赤浜では、秋無数の赤蜻蛉が夕陽を浴びて連日のように舞っていた。まるでそれが当然であるかのように。

自然の破壊が、叫ばれるようになってから久しい。十九世紀後半からの足尾鋳毒事件を持ち出すまでもなく、開発という美名のもと、自然や景観の破壊、埋蔵文化財の軽視など、など。寸時も止どまることなく続いている。そうしてその志向は、執拗にこれらの村里にも押し寄せている。人間の叡知をしても、止どまって回りを見渡すことは出来ないものであろうか。

傘を持たない人が、自分の前を歩いている雨の街角、「そこまで、どうぞ」

「ありがとう」

差し出す一つの傘が、花になる。

それが、思いやり

一輪さしになって、

陰うつな空を明るくする。

人の肩を濡らさないで、

人の心を濡らす、

ひととき……………。

とある駅で見かけた、電飾広告板に記されていた一文である。

向稜山岳部の一年

昭和四十年卒

井上 芳子

遠く寒山に登れば石径斜なり
白雲生ずるところ人家あり

晩唐の詩人 杜牧の「山行」の一部

山深み春ともしらぬ松の戸に
たえだえかかる雪の玉水

鎌倉初期の歌人 式子内親王
国語甲、乙の大野、磯部両先生の授業より。

令和二年の学校案内に「入学から卒業までのストーリー」の記事。昔日の入学式から、一年間のことをふりかえります。生徒会誌四冊と山岳部報を資料として。昭和三十七年春、部活説明で十名入部する。冒頭の漢詩は、新人歓迎の馬頭刈山行（三年、児玉光久部長）和歌は送別山行（二年、久松英定部長）の三ツ峠山小屋「四季楽園」の光景が目につく。

顧問は板井先生、往年の駅伝奏者。今は既に亡き人でご冥福をお祈りいたします。中谷、斉藤両先生にも多大なお世話になりました。

山岳部は同好会から発足して、三年を経過、一九六二年の「讃岳



昔の山男（時期不詳の祖父 昭和10年代）

三号「ケルン建設記念号」は、今では半世紀前の記録。四号は百頁の袋とじの大冊で高校山岳部の誇りを込めて、「山と溪谷」と「岳人」へ一部ずつ送られた。

近年、京都から便りがある。関西在住の元部員により、京都会議と銘打った、大文字登山の案内で、やむなく参加できなかった。

北アルプスの夏合宿は入院中で、ボッカ訓練で力をつけたのに、出発前に残念な落伍。

個人の歴史は途切れて、「山岳部

の歌」が有ったのかどうか、わからない。多彩な人材が集結。ギター作曲、ヴァイオリン独奏、詩人も在籍。部誌の音楽コーナーに「新人エレジー」がある。

二年部員は小生意気

はったりかすしおどかすし

新兵なんぞはあごの先

末はギャングか強盗か

「それだけは勘弁」と父。「何で、歌を歌い曲を口ずさむべし、は我が家の家訓。十五をかしらに二歳迄の七人の有象無象が、末はギヤ

ングが強盗かとハモツたら世も末か。ソノシートの「山岳歌曲集」より、親しめた。

実際は二年部員はすばらしい。北ア、横尾キャンプから絵葉書が三通。高二で大人の感。

創部の先輩諸氏は、十九歳。一年生を「新鋭隊」と呼び、来校すると肩をたたき「しっかり勉強しろよ」と励ましの一言をくれた。

「反省のない山行は行かないほうが良い」と。月曜日は反省会、ふさわしくない服装で注意される。ピンクのフリルのえりは論外。神田の先輩のミナミスポーツを紹介され、装備を揃える。しかし登山シャツは忘れる。

新宿駅集合時に、寝袋の風呂敷包みを提げて行った。OGの古市さんが、自身の荷物の上に縛り、両手自由の原則の無言の教え。

登山口から休憩前に空腹でギブアップ。切り株で早弁。待ちぼうけの部員をよそに、一列車遅れの二年生が「ヤッホー」と走り抜けた。集合遅れも反省材料となる。

天気図も大事な訓練。テントでも山小屋でも気象概況を聞く。等圧線は難しい。

山行の前夜、鉈と鯉節を持たされる。後に祖父が北ア、穂高岳に

登った時のナタと知る。フィルムが出てきて、槍ヶ岳を右肩に登山服の姿で、ゲートルに地下足袋。祖父は昭和二十年に五十代で亡くなる。十五で穂高断念の孫にかわって登ってくれていた錯覚。

送別山行以降、山と別れる。海へ移行した。珊瑚礁の彼方、外洋の高波を越え南洋諸島へ。戦没者慰霊の巡拝で、玉砕の島パラオ、ペリリュー、アンガウル島へ七度渡航した。

戦歴の生き残りの兵士と共に密林を踏みわけ戦跡や洞窟に行った。戦後生まれは一人。「女の井上さんが頑張っているから、負けてはいられない」と野砲隊の人に言われた。いいえ、落伍しないようについていっただけ。

その時に、初めて「向稜山岳部」の一年間の訓練と山歩きが役に立って、あの苦しかった経験が、年を経て生きた！と実感できた。



ボランティアを楽しむ

昭和四十七年卒

佐々木(遠野)郁子

仕事を辞めてからというものの、ボランティア活動にはまっています。主に東京都と港区の観光ボランティアガイドとして、それぞれ月に二回位ずつ活動している。他に小学校に出向いて手話指導のお手伝いなどという活動も入れると、週に一、二回は出かけることになる。お金にはならないことだが、楽しくて仕方がない。

まず、職場や学校では出会うはずのない人々との出会いが嬉しい。その方々と語り合う中で、今まで知らなかった世界を知ることが出来る。自分が如何に小さな世界で生きていたのかと驚かされる。価値観の違い、世界観の違いに目を見開かされる。

とはいえ、私は趣味が多く、このところボ

ランティア活動のために趣味に費やす時間が圧迫されている。昨年はワールドカップのボランティア活動が加わって忙しさが倍増してしまった。今年こそはもう少し減らさなくてはと思うのだが、今年はオリンピックがあるではないか。当分この忙しさは続きそうだ。



寄付者・会費納入者一覧

2019年度中に寄付金・年会費をお振込頂いた方々です。(敬称略)
尚、3,000円以上の納入は寄付者扱いとして掲載させて頂きました。
ご協力誠にありがとうございました。有効に活用させていただきます。
尚、記載漏れがありましたらご連絡下さい。(2020年1月末日)

寄付者名一覧

◆校長 津坂 敬子 (石神)
◆副校長 西村 孝 津坂 和男
◆旧職員 石井久美子 西村 孝
◆池永 武昭 鈴木 恵子
◆岡本ゆり子 五十嵐光俊
◆北村 正生 久保 雄南
◆新原 爾 友部 佳子 (立川)
◆神能 精一 能州 良彦
◆関根 茂 森 正樹
◆戸谷 賢司 岩井 和子 (大野)
◆前園 実 河崎 安弘
◆杉本 カツ 田中 正明
◆新海 節子 柴崎 宏道
◆沖山 道 宝珠山邦子 (近藤)
◆木村 弘子 宮下紀恵子
◆桑 幸子 飯山千枝子 (萩原)
◆谷口 宏子 石川 幸子 (石川)
◆霜田 恒彰 羽柴美枝 (五十嵐)
◆早船セツ子 荒川 正
◆瀬沼 勝 井上 芳子
◆武内 恭一 小林 陽二
◆橋田美智子 (山口)
◆荒井喜美子 杉浦 重治
◆小川 力洋 高橋 重治
◆川端 春生 (三橋)
◆木村 隆 宮園 紘美
◆坂戸裕美子 (田中)
◆高尾 和子 (杉本)
◆増子 明美 (若生)
◆三田 昌男 長谷川三枝子 (原)
◆山本 越子 (福永)
◆金沢 英夫 溝口 進一
◆佐藤 元是 吉田 恵子
◆小川 光子 (寺島)

◆菊池 武博 米谷 省吾
◆皆川 和実 湖山 均
◆常盤 清人 金澤 信子
◆金子 健二 白井大治郎
◆仙谷 剛 中村恵太郎
◆山口 義朗 宮久保 渡
◆恩村 一郎 山口 義朗
◆岩井 和子 佐々木 幸子
◆佐川 海 堀田 睦夫 (赤沼)
◆佐々木 郁子 堀田 睦夫 (赤沼)
◆遠藤 睦夫 堀田 睦夫 (赤沼)
◆須賀 清孝 遠藤 睦夫 (赤沼)
◆本多 和子 須賀 清孝 (牧野)
◆萩谷 忠 渡辺 陵子 (木村)
◆渡辺 陵子 渡辺 陵子 (木村)
◆浅野 雄一 浦野 良一
◆新井 清一 浦野 良一
◆戸部 鉄郎 浦野 良一
◆武智 弘英 旗野 敏弘
◆旗野 敏弘 旗野 敏弘
◆林 英子 (熊谷)
◆本庄久美子 (山口)
◆今井美代子 (清水)
◆目黒 利枝 (菊池)
◆平元年 三原 博
◆横山 信夫

会費納入者名一覧

◆平5年 塩野入 毅
◆高橋 康隆 西岡 照男
◆吉田 宗弘 二瓶恵美子 (佐拔)
◆高崎さつき 松居 晃
◆茂田 恵子 山田 和子 (釘宮)
◆谷本 圭子 小西 圭子 (城)
◆伊藤 康晴 伊藤 康晴 (阿部)
◆井上 早苗 井上 早苗 (阿部)
◆堀田 恵津 堀田 恵津 (山田)
◆太田 千よ 堀田 恵津 (山田)
◆酒井美代子 堀田 恵津 (山田)
◆手島 紀子 堀田 恵津 (山田)
◆岩松 英子 堀田 恵津 (山田)
◆小林 怜子 堀田 恵津 (山田)
◆佐藤 弘子 堀田 恵津 (山田)
◆辻本佳津子 堀田 恵津 (山田)
◆中村 弥生 堀田 恵津 (山田)
◆大西 弘明 堀田 恵津 (山田)
◆北岡千枝子 (松田)
◆池田 久男 堀田 恵津 (山田)
◆高野 芳子 (金安)
◆百野 啓介 堀田 恵津 (山田)
◆星 直正 堀田 恵津 (山田)
◆大島美智子 (裕)
◆緒方 素之 堀田 恵津 (山田)
◆曾根 晴生 堀田 恵津 (山田)
◆奥村 誠 堀田 恵津 (山田)
◆寺尾ヒロミ 堀田 恵津 (山田)
◆森 紘子 (小沢)
◆今村 春江 (星)
◆小澤 由明 堀田 恵津 (山田)
◆小澤 直子 (山野)
◆鈴木 多可子 (浅賀)
◆寺村 光司 堀田 恵津 (山田)
◆永井 良子 (樋口)

◆南方 洋子 (富田)
◆橋立 昭武 橋立 昭武 (富田)
◆山口 洋子 (上野)
◆渡辺 光寛 渡辺 光寛 (上野)
◆太田 和子 (豊田)
◆鎌倉 博子 (橋場)
◆番場 博子 (橋場)
◆宮澤 博子 (興津)
◆上野美江子 (中村)
◆加藤 明子 (中村)
◆北田 照子 (大山)
◆能州 慶次 能州 慶次 (大山)
◆盛岡 治英 盛岡 治英 (奈良)
◆湯浅美保子 (奈良)
◆相澤 妙子 (戸川)
◆秋山 浩一 (戸川)
◆内田 淳子 (青木)
◆大西 政男 (青木)
◆海和 秀男 (青木)
◆斎藤 紀雄 (栗嶋)
◆斎藤 孝子 (藤村)
◆澤田 美幸 (藤村)
◆篠崎 美幸 (藤村)
◆島田 敏弘 (飯田)
◆相馬久美子 (飯田)
◆青木 弘明 (飯田)
◆井沢 弘美 (飯田)
◆伊藤 義則 (飯田)
◆井村 忠 (飯田)
◆内野 富雄 (飯田)
◆川添奈津子 (飯田)
◆鈴木 雅之 (飯田)
◆原 淑子 (近藤)
◆福原喜久枝 (新井)
◆別府 輝夫 (新井)
◆三谷アツ子 (西)
◆横田代志子 (三谷)
◆渡辺 幸男 (高田)

◆植原美年子 (川田)
◆橋川 道雄 橋川 道雄 (川田)
◆佐古岡まきみ (畑中)
◆鈴木 裕司 鈴木 裕司 (畑中)
◆高野 一義 高野 一義 (畑中)
◆増田 恵一 増田 恵一 (畑中)
◆村野 洋子 (西口)
◆吉村由美子 (園田)
◆石川 明枝 (石川)
◆加藤和子 (大久保)
◆高見 健二 高見 健二 (安原)
◆辻 節子 辻 節子 (安原)
◆大西 絹子 (田口)
◆永井すま子 (田口)
◆中沢香代子 (近間)
◆堀井 貴司 堀井 貴司 (近間)
◆大島さと子 大島さと子 (堤)
◆金子 政弘 (堤)
◆松山さだ子 (小山)
◆村上 恵一 (小山)
◆村上みな子 (菅野)
◆吉村 和子 (菅野)
◆太田 克朗 (菅野)
◆小林 正夫 (菅野)
◆鈴木 正伸 (菅野)
◆高市 敏雄 (菅野)
◆中西 祥子 (菅野)
◆小池 二美 (飯島)
◆高野 均 (飯島)
◆藤堂 順子 (飯島)
◆秋元 雅則 (飯島)
◆尾崎 富雄 (飯島)
◆柿沼 好明 (飯島)
◆岸田 恒幸 (飯島)
◆武田 正敏 (飯島)
◆丹下 薫 (飯島)
◆長谷川教子 (高倉)
◆小高 智子 (池田)

◆柏 英明 久保田 郁子 (加藤)
◆品田 秀子 (佐藤)
◆関口多鶴子 (佐藤)
◆石井徳太郎 石井徳太郎 (佐藤)
◆今出 隆久 今出 隆久 (佐藤)
◆上野 一成 上野 一成 (佐藤)
◆川崎すみ子 (白石)
◆川島 清次 川島 清次 (白石)
◆高見 健二 高見 健二 (白石)
◆辻 節子 辻 節子 (白石)
◆大西 絹子 (田口)
◆永井すま子 (田口)
◆中沢香代子 (近間)
◆堀井 貴司 堀井 貴司 (近間)
◆大島さと子 大島さと子 (堤)
◆金子 政弘 (堤)
◆松山さだ子 (小山)
◆村上 恵一 (小山)
◆村上みな子 (菅野)
◆吉村 和子 (菅野)
◆太田 克朗 (菅野)
◆小林 正夫 (菅野)
◆鈴木 正伸 (菅野)
◆高市 敏雄 (菅野)
◆中西 祥子 (菅野)
◆小池 二美 (飯島)
◆高野 均 (飯島)
◆藤堂 順子 (飯島)
◆秋元 雅則 (飯島)
◆尾崎 富雄 (飯島)
◆柿沼 好明 (飯島)
◆岸田 恒幸 (飯島)
◆武田 正敏 (飯島)
◆丹下 薫 (飯島)
◆長谷川教子 (高倉)
◆小高 智子 (池田)

平成31年度及び令和元年 総会資料
都立向丘高校同窓会
平成31年4月21日(日) 於「源気丸」

《 報 告 事 項 》

[事業報告]

平成30年度分

(平成30年4月1日～平成30年3月31日)

1 役員会(幹事会)

H30年4月7日(土)

会計監査会 6名参加 於 源気丸

8月25日(土)

役員会 12名参加 於 源気丸

12月2日(日)

役員会兼やよい企画会議 10名参加

上記終了後、元PTA会長・現役員との懇

親会 14名参加 於源気丸

2 総会/懇親会 於 駒込「源気丸」

H30年4月22日(日) 総会

12:00～12:30

報告事項・決算、事業計画・予算案、役員

案すべて、満場一致承認

懇親会12:30 自己紹介などで多に盛

り上がりました。

52名参加 会報29号5項参照

3 研究活動(全国大会)、向陵祭

H30年5月27日(日) 長野県松本市大会
12:00～ 12名参加 於 市内レストラン
会報29号5項参照

9月15日(土)～16日(日)

向陵祭に写真作品を出品 於 母校3階会議室

「田中・小川氏」土・日曜日にOB・役員
参観あり、6名。

4 ホームページの充実について

①実務打合せ 3回開催

5 会報関係について

H30年12月2日(日) 会報企画打合せ会

10名参加 於 源気丸

H31年1月16日(水)「やよい」編集会議

3名参加 於 ガスト

2月19日(火)「やよい」校正

3名参加 於 ガスト

3月6日(水)卒業予行会に配布できるよ

う母校に搬入した。

1200部(在校生750、新入生250、学校等)

6 渉外関係

H29年4月9日(月)入学式に宮久保会

長・小川名誉顧問と田中相談役が参列した。

於 母校体育館

5月20日(土)PTA主催の教職員歓迎

迎会

宮久保会長、仙谷幹事長参加

於 香川栄養大学「松柏軒」

11月25日(土)PTA会長OB会主催の懇親会

宮久保会長・小川名誉顧問参加

於 香川栄養大学「松柏軒」

H31年3月8日(金)卒業式準備会に宮久保会長
が卒業生に挨拶をした。

3月9日(土)卒業式に宮久保会長と小川名誉

顧問・田中相談役が参列した。

於 母校体育館

3月9日(土)PTA主催の卒業式を祝う会に

宮久保会長、中村幹事長代理 浦野・浅野両副幹

事長が参加した。於 上野パセラ

学校運営協議会に、宮久保会長、田中相談役参加、

年3回

7 卒対関係

H30年3月9日(土)第68回卒業生268名(卒業

生全員)について、入会記念品としての個人用特注

印鑑を予行日に各組担任先生からお渡しを戴いた。

[決算報告] 別紙決算報告のとおり

《 審 議 事 項 》

[事業計画] 案 平成31年度及び令和元年分

(平成30年4月1日～令和元年3月31日)

1 総会・懇親会開催の件

会報 29号1頁参照①H31年4月21日(日)

2 全国大会・やよい会 高尾大会開催の件

会報 29号1頁参照②令和元年5月26日(日)

3 ホームページの充実

ホームページを充実させるため、努力をします。

①同窓生の同期会・クラス会・クラブOB会など多
くの情報を戴き、発信します。

②既発行分の「やよい」の掲載をします。

③卒業写真など、掲載していきます。

4 向陵祭参加とホームカミング開催の件

やよい29号1頁参照③

向陵祭 令和元年9月14日(土)～15日(日)

5 同期会・クラス会等への通信費の助成、各期の
住所をお知らせします

同期会開催へ2万円を助成。クラス会・クラブO

B会にも5千円助成。

報告文(会合の集合写真等を添えて)を受け取り
次第、代表幹事の指定口座宛お振込致します。

宮久保会長宛速やかにメールもしくは郵送して下
さい。住所については、個人情報保護を重視し、

各期の幹事3名による「同窓会活動以外には使用
しない旨の誓約書」(自筆による住所・氏名・押

印)をPDFで会長宛てにメール。

それを確認後、住所録を送ります。

6 広報誌の発行と発送

(会員相互の意思の疎通を図るため)

令和元年3月に「やよい」30号発行の予定(会
員・クラス会・同期会等の適切な投稿を歓迎)。

原稿締め切りは1月中旬とする。

7 新卒業生の入会者に記念品特注印鑑セットを贈
呈する。

8 年会費、寄付金ご協力のお願い

新卒者の入会金の殆どは会報関係に充当。年会費
は1口¥1,000～¥2,000程度運営費としてご協賛

をお願い致します。

年会費込み3000円以上の送金は寄付金扱いと致し
ます。

9 80周年準備会

創立80周年に向け、学校及び在校生に向け、記念
になるものを贈ります。具体的には、学校及び

PTAと相談して進めます。今年度より、毎年予算
を20万計上します。

10 次期定期総会の件

やよい30紙上にて発表予定

[予算] 案 左記予算案のとおり

平成30年度会計報告及び令和元年度予算

都立向丘高等学校同窓会

平成31年4月21日

	30年度決算	元年度予算
収入の部	金 額	金 額
入会金(⑧8000)	2,096,000	2,000,000
年会費(含寄付金)	758,100	800,000
総会懇親会費	140,000	100,000
全国大会費	36,000	100,000
諸会費	8,000	0
雑収入	0	0
前年度繰越金	3,405,158	3,353,002
収入合計	¥6,442,258	¥6,353,002

	金 額	金 額
支出の部		
全国大会関係費	146,752	150,000
交通費	72,000	100,000
通信印刷費	85,975	200,000
会議費	128,748	150,000
総会懇親会費	201,772	200,000
催物関係費	6,740	50,000
慶弔費	40,000	100,000
研究活動費	95,200	100,000
振興助成費	60,000	100,000
会報関係費	1,800,000	1,800,000
渉外費	46,000	50,000
開発費	106,845	300,000
生徒激励費	0	100,000
卒対費	100,080	100,000
周年準備金	200,000	200,000
雑費	144	10,000
支出合計	3,090,256	3,710,000
次年度繰越金	3,353,002	2,643,002
総合計	¥6,443,258	¥6,353,002

ゆうちょ銀行 10170-1750501 口座番号 やよい会

通常貯金残高 ¥1,853,002 定期貯金残高 ¥1,500,000

上記の通り収支報告申し上げます。

平成31年4月21日 同窓会会長 宮久保 渡 ㊟

会計 尾道 郁代 ㊟ 笹山 幸子 ㊟

監査の結果誤りのないことを認めます。

平成31年4月7日

監査 三田 昌男 ㊟ 井上 芳子 ㊟

同窓会役員名簿

令和2(2020)年1月20日現在

役職名	氏 名	卒業年
顧問	新城 昇	歴代校長
〃	池 永 武 昭	〃
〃	北 村 透	〃
〃	北 村 正 生	〃
〃	石 井 隆 夫	〃
〃	戸 谷 賢 司	〃
〃	前 園 実	〃
〃	関 根 茂	〃
〃	神 能 精 一	〃
〃	栞 原 爾	〃
名誉会長	加 藤 孝 行	校 長
名誉顧問	小 川 力 洋	31年卒
会 長	宮久保 渡	45年卒
副 会 長	杉 浦 重 治	40年卒
副会長兼会計	尾 道 郁 代(大橋)	41年卒
幹 事 長	仙 谷 剛	45年卒
幹事長代理	中村 恵太郎	45年卒
副 幹 事 長	浦 野 良 一	55年卒
〃	浅 野 雄 一	55年卒
書記兼会計	笹 山 幸 子	46年卒
書 記	佐々木 郁子(遠野)	47年卒
〃	今井 美代子(清水)	61年卒
〃	目 黒 利 枝(菊池)	63年卒
会 計 監 事	三 田 昌 男	31年卒
〃	井 上 芳 子	40年卒
西日本地区幹事	高 尾 和 子(杉本)	31年卒
新潟地区幹事	小山 由記子(吉田)	40年卒
仙台地区幹事	吉 田 恵 子(吉田)	41年卒
静岡地区幹事	増 子 明 美(若尾)	31年卒
茨城地区幹事	友 部 佳 子(立川)	35年卒
札幌地区幹事	恩 村 一 郎	46年卒
事 務 局	石 井 久 美 子	副校長
相 談 役	川 端 春 生(三橋)	31年卒
〃	田 中 正 明	36年卒

◎役員を募集しています◎

各期幹事

星 直正	29年卒	斉藤 明良	48年卒
居村 正久	31年卒	千田二仁江	59年卒
友部 佳子(立川)	35年卒	10chidachan-hujie.10@ezweb.ne.jp	
坂井 右紀	41年卒	浅野 悠樹	61年卒
谷嶋二三男	41年卒	岩田 隆英	H6年卒
戸部 実	44年卒	iwatasana@gmail.com	
minputobeadress@gmail.com		横山 李孝	H11年卒
佐川 海道	47年卒	soutakento@gmail.com	

クラブOB会世話人

軟式テニス部	谷嶋二三男	41年卒
	f-tanisima@ac.auone_net.jp	
テ ニ ス 部	長谷川広之	51年卒
	h09089490725@mopera.net	
サ ッ カ ー 部	仙 谷 剛	45年卒
	tsuyoshi.senya@gmail.com	
フォークソング部	関本 知恵	52年卒
	s.chie.tukushi@gmail.com	

計 報

旧職員 小野 正喜	S 24 卒 飯塚 枝	R.1.9.20	S 35 卒 中村 節子	H.30.11
(旧姓 中村)	(旧姓 井上)		(旧姓 米沢)	
S 24 卒 水上 實	S 24 卒 矢島 枝	H.24.4	S 36 卒 今井 稔	
(旧姓 井上)	(旧姓 井上)		S 36 卒 村上 光由	H.30.5.28
S 25 卒 石井 恭子	H.30.5.20		S 38 卒 佐藤 崇司	
(旧姓 神原)	(旧姓 田辺)		S 38 卒 飯田佐知子	H.31.2.24
S 28 卒 武田 淳子	H.31.2		S 38 卒 杉本 光子	H.30.12.31
(旧姓 宮崎)	(旧姓 鎌田)		S 39 卒 井出 好雄	
S 28 卒 堀 満彦	H.29.11		S 39 卒 木村 伸也	
S 28 卒 石澤 通明	H.30.12		S 39 卒 飯島 恵子	
S 28 卒 鈴木 京子	H.30.12		(旧姓 岡本)	
(旧姓 大和田)	(旧姓 清水)		S 39 卒 久保田幸子	
S 29 卒 植村英三郎	H.30.4		(旧姓 清水)	
S 29 卒 藤田 泰子	H.24		S 41 卒 大竹美佐子	H.30
(旧姓 井上)	(旧姓 鈴木)		S 41 卒 杉 泰子	H.31.1.2
S 30 卒 渡辺 全	H.30.4		(旧姓 池村)	
S 31 卒 大窪 英子	H.30.7.23		S 44 卒 木村 信幸	
(旧姓 芹沢)	(旧姓 和久井)		S 46 卒 穴沢 緑	H.29.11
S 31 卒 松本 栄二	H.30.12.5		S 46 卒 梶谷 欣弘	H.30.1.30
S 33 卒 西村 哲郎	H.28		S 51 卒 増井美知子	H.30
(旧姓 小寺)	(旧姓 堀)		S 52 卒 渡辺 和紀	
S 34 卒 鈴枝 恵子	H.30.11		S 52 卒 宇田 博子	
S 34 卒 大竹 錠二	H.30		(旧姓 堀)	
S 35 卒 浅沼 由紀	H.29.1.3		S 55 卒 脇坂 正	
(旧姓 中島)				
S 35 卒 松井 紘一	H.30.1			

※ 計報の訂正 「31年卒 堀江幸子」ご健在、お詫びし訂正します。